

窓ガラスが汚れる原因

- 窓ガラスが汚れる原因・・・
- 静電気と帯電について・・・
- 理想的な清掃と窓ガラスとは・・・



窓ガラスが汚れる原因について



窓ガラスが汚れてしまう原因って、皆さんご存知ですか？窓ガラスの内側が汚れる原因としてまず挙げられるのが、手垢です。窓の開閉をすることが多いと、その度に窓ガラスに触れてしまっていたり、子どもが汚れた手で触ったりすると、手の跡がべったりと付いてしまいます。また、部屋のホコリも原因のひとつ。カーペットの場合などは特にホコリが出やすく、窓ガラスにも付着しやすいのです。さらに、タバコを部屋で吸う人がいる場合、ヤニが原因で汚れることもありますし、キッチンの窓であれば、料理をする際の油を含んだ水蒸気などが原因で汚れることもあります。

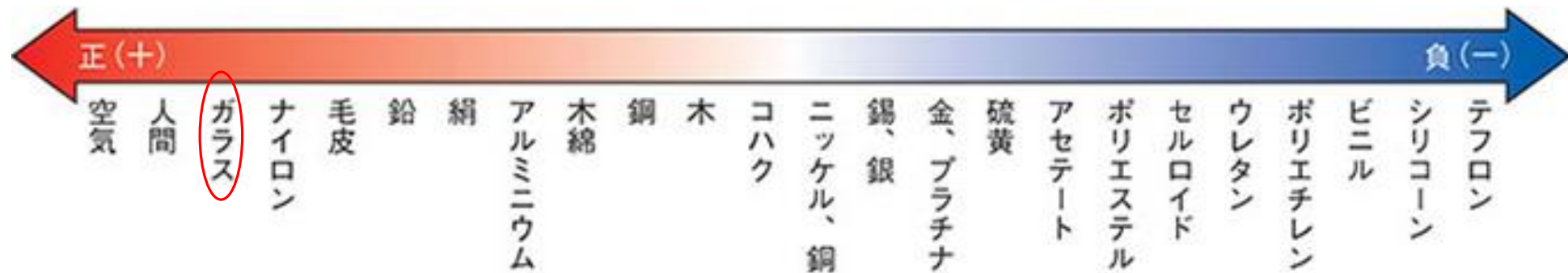
そして窓ガラスの外側の主な原因は、空気中を漂う砂や土、そして花粉です。これらが空気中を舞っている事で、窓ガラスや網戸、そしてサッシに付着するのですが、それらをしつこい汚れとして定着させてしまうのが空気中を漂う排ガス、そしてそれに含まれる油分です。

一見すると、窓ガラスにはそのような汚れが付着しているようには見えなかったりします。そして私達は悲しいかな、目で見て判断してしまう癖のようなモノがあります。そういった事が原因で窓ガラスに付着している汚れは、上から重ねて汚れていくことによって非常に落ちにくい、お掃除の大変なモノになってしまうのです。毎日窓ガラスには汚れが付きます。汚れていないように見えて、実は汚れている窓ガラス、お宅は大丈夫ですか？



静電気と帯電について

ホコリとは、布団やカーテン・じゅうたんなどの綿ボコリ、ペットの抜け毛、食べカス、花粉、バクテリア、タバコの煙などの総称です。目に見えない大きさ（ $10\mu\text{m}=100$ 分の 1mm ）以下のものがほとんどで、空気中に浮遊しています。ホコリは静電気に吸い寄せられるという特徴があります。また物質はプラスかマイナスの電気を必ず帯びています。その強さは物質により異なりますが、下図のようにガラスはプラスの電気を帯びています。プラスの電気を帯びている物質の中でも非常に強い物質に相当します。即ち埃や花粉など汚れを引き付ける力が強いのです。なぜ帯電防止や放電を促進させる必要があるかが理解頂けたと思います。



理想的な清掃方法と窓ガラス

- 窓ガラスを掃除するのに天候は関係あるのでしょうか？確かに雨が降っているときに洗ってもあまりきれいになった気にはなりません。一般的に窓ガラスの掃除日和は雨が降った次の日です。また掃除する日は曇りだとよりいいといわれています。その理由は雨が降ったことで湿度が高くなっているため、窓についている汚れが浮いていることと、曇りだと窓ガラスの汚れ具合がよくわかるので、汚れ残しをなくすことに繋がるからです。
- では窓の汚れが浮いているとなぜ良いのかというと、もし汚れが浮いていないと汚れを取るために擦る必要が出てくるので、掃除の手間が省けることと労力に大きな差が出てきます。また何度も擦ることで、窓ガラスに傷がついてしまう恐れもあるので、なるべく擦る回数を減らせる雨が降った翌日の天候が曇りの日に行うようにしましょう。
- 理想の清掃方法は乾いたタオルだけで拭き取る事です。水や洗剤を使用する事で拭きムラやガラスを何度も擦ることにより目に見えない傷がつきます。当然清掃する負担も大きく、傷がつく事によりさらにガラスが汚れやすくなります。しかしガラス面は新品のガラスであれば乾いたタオルで力を少し入れるだけでも拭き取れますが、1か月も経過すれば乾いたタオルで拭きとることが出来なくなります。ガラスに付着した汚れにより摩擦が大きくなるからです。摩擦が少ないという事は汚れが少ないという事になります。乾いたタオルでスムーズにガラスをきれいに拭けるか試してみてください。体力的に大変だと実感します。同時に窓ガラスが汚れているという事になります。

